

(2) 平成15年度～17年度第2部会の取組

①南部地域の環境整備に向けた活動方針

第2部会では、南部地域の環境整備に向けた活動の基本方針を「魅力の発掘」と「魅力の広報・PR」とし、以下のような段階的な手順を踏んだ活動をおこなった。

ステップⅠ：魅力資源の発掘とそれをつなぐ散策ルートの設定

↓

ステップⅡ：魅力資源と散策コースを紹介する散策マップの作成、発行

↓

ステップⅢ：散策マップを使ったまち歩きイベントの企画、実施

↓

ステップⅣ：散策コースへの案内サインの検討、設置（※平成16年度に追加）

↓

ステップⅤ：散策コースの休憩スポット等の検討、整備

②魅力資源のリスト作成

魅力資源の種別については以下のように分類しながら、全部で84箇所を抽出した。これらの魅力資源の解説については部会員がそれぞれ担当した。

また、散策する際には適当な間隔で手洗いやトイレも必要な事から、それらの項目も追加している。

- ・歴史（次の寺社を除く、庚申塚や碑等を含む）
- ・寺社（神社仏閣）
- ・眺望（見晴らしがよいところ）
- ・公園・緑道（散策ルート沿道の道祖神なども含む）
- ・家並（旧集落・旧街道など面影がある場所）
- ・古民家（修復されたものも含む）
- ・名古木（市指定の名木古木が中心）
- ・トイレ、手洗い等

③散策コース及びお勧めコースの設定

1) 散策コースの設定

散策コースの設定にあたっては、次の点を基本とした。

- ・南部地域をアピールする魅力資源を網の目のようにできるだけ多かつなぐ
- ・北側のニュータウンの台地部から南側の鶴見川流域の低地を縦につなぐ
- ・もともとの居住地である丘陵部に集積する魅力資源を横につなぐ
- ・ニュータウン内の緑道や歩行者専用道路との接続を考える

2) お勧めコースの設定

南部地域のお勧めコースは、上記の4項目に次の4つの基本的な考え方を加え、5コースを設定した。

- ・できるだけ南部地域の特色が感じられるコースを優先する
- ・地域に住む人はもちろん、外から訪れる人も対象にコースを設定する
- ・すでにある駅だけでなく、開設予定の駅を相互につなぐコースをメインとする
- ・南部地域でのバランスを考え、東側、中央、西側、東西のコースを設定する

○ a コース (仲町台駅と鴨居駅をつなぐ東側コース)

大熊川、江川、鶴見川といった開放的な河川空間に沿って、四季折々の花や水鳥などを観賞できるコースである。

○ b-1 コース (葛が谷駅と鴨居駅をつなぐ中央コースの一つ)

池辺農業専用地区、坊方道、浄念寺川せせらぎ緑道など、主に池辺町の魅力資源を楽しめるコースである。

○ b-2 コース (仲町台駅と鴨居駅をつなぐ中央コースの一つ)

折本・東方の農業専用地区をはじめ、あじさい緑道、J A横浜きた総合センター、原谷戸、天満宮、八幡森など、東方の田園・集落景観などを味わえるコースである。

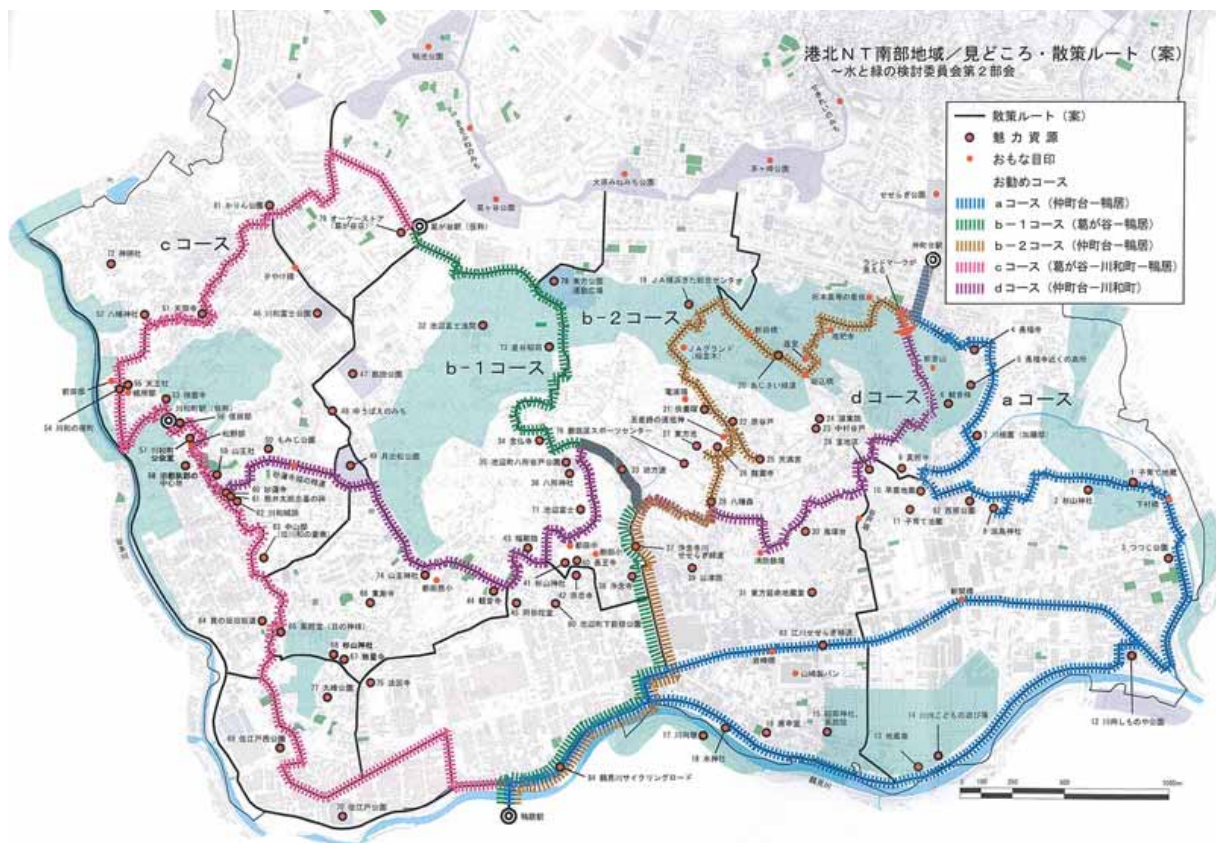
○ c コース (葛が谷駅と川和町駅、鴨居駅をつなぐ西側コース)

八幡神社、川和宿町、瑞雲寺、妙蓮寺、貝の坂など、川和町の歴史資源を心ゆくまで満喫できるコースである。

○ d コース (仲町台駅と川和町駅をつなぐ東西縦断コース)

見晴らしのよい折本農業専用地区や宝地区、鬼塚台などの田園景観、八幡森の集落景観、坊方道や池辺富士、山王神社や妙蓮寺など、南部地域の魅力をトータルに楽しめるコースである。

図-8. 港北ニュータウン南部地域の見どころ・散策コース



④都筑区南部水と緑の散策マップの作成

都筑区南部には歴史ある神社仏閣やのどかな田園風景など、港北ニュータウンとは一味違った魅力がたくさんある。その魅力をもっと広く皆さんに知ってもらい、足を運んでいただきたいという思いと、区制10周年を記念して散策マップを作成した。

作成にあたっては、平成15年度に行った地域の魅力資源の調査結果から今回の散策マップで取り上げる散策コースと資源を決めたうえで、メンバーが分担して解説文を作成した。その後、部会のメンバーが現地の視察や取材を行い、また、区内で活動する「都筑写真倶楽部」に依頼するなどして撮影した写真を選定し、区民手作りの散策マップづくりを行った。

- ・配布開始日 平成16年11月8日（月）から
- ・配布場所
都筑区役所、区内4地区センター（都筑・中川西・仲町台・北山田の各地区センター）で無料配布
- ・都筑区南部 水と緑の散策マップの内容
 - ①情報面と地図面で構成（色覚障害の人に配慮したカラーユニバーサルデザイン）
 - ②鉄道各駅を結ぶ4つの散策コースを紹介
 - A 川と緑の散策コース（仲町台駅～鴨居駅）
 - B ふるさとのみち散策コース（（仮称）葛が谷駅／仲町台駅～鴨居駅）
 - C 川和の歴史散策コース（（仮称）葛が谷駅～（仮称）川和町駅～鴨居駅）
 - D パノラマと寺社の散策コース（仲町台駅～（仮称）川和町駅）
 - ※（仮称）葛が谷駅・川和町駅は平成20年開業予定の市営地下鉄4号線の駅
 - ③神社仏閣や公園など35の地域資源、花暦、趣のある小道などを紹介
- ・広告の掲載
経費節減を目的に、広告を情報面に掲載し、広告料収入を確保
スペース：タテ60mm×ヨコ98mm／枠数：3枠／色数：4色／広告料（1枠税込み）：40,000円

図－9．都筑区水と緑の散策マップ（オモテ）



⑤まち歩きイベントの企画・実施

都筑区南部の魅力を多くの人に知ってもらうため、「都筑区南部 水と緑の散策マップ」を使い、歴史ある神社仏閣、のどかな田園風景、開放感あふれる水辺空間などが満喫できるまち歩きイベントを企画し、平成17年度までに計2回実施した。

第1回 Aコース（川と緑の散策コース） 平成17年3月26日（土） 参加者 83名
天候：晴れ

仲町台駅～長福寺～真照寺～早苗地藏～淡島神社～江川せせらぎ緑道～庚申堂～水神社～鶴見川サイクリングロード～鴨居駅〔約6.0km〕

※山崎製パン(株)より、パンと飲み物をご提供頂いた。



スタッフ集合



真照寺での説明



鶴見川河川敷

第2回 Bコース（ふるさとのみち散策コース） 平成18年4月1日（土） 参加者 57名
天候：晴れ

仲町台駅～あじさい緑道～JA横浜きた総合センター～原谷戸～中村谷戸～天満宮～都筑スポーツセンター～八幡森～浄念寺川せせらぎ緑道～鶴見川サイクリングロード～鴨居駅〔約6.8km〕

※山崎製パン(株)より、パンと飲み物をご提供頂いた。



八幡森

浄念寺川せせらぎ緑道

⑥アンケートによる意向調査

まち歩きイベントをおこなった際に、ゴール地点で散策コースや散策マップ等に関するアンケート票を配布し、その場で回答してもらった(第1回は79名、第2回は57名 合計136名)。

1) 参加者の属性

- ・男女の内訳はほぼ半々で、年齢は60歳代(70名)が最も多く、70歳代(39名)、50歳代(18名)と合わせて中高年層で94%を占めた。
- ・区外からの参加者は14名のみで、多くが都筑区民であった。また、区内南部地域からは計58名、区内南部地域外からは計60名と、区内の各地域から参加者が集まった。(無回答4名)

2) コース設定、散策会の内容について

- ・第1回のコースは約6kmで午前中に終了する散策会であったが、短かったという人が12名いたものの、多くの人(67名)はちょうどよかったと回答している。
- ・第2回のコースは約6.8kmであったが、55名(96%)の方がちょうど良いと回答しており、散策コースの距離については一定の評価を得た。
- ・内容については、128名(約94%)が満足感(満足+やや満足)を表明している。

3) 主な感想(自由記入)

○良かった点など

【第1回】

- ・色々お寺、地蔵尊などの説明をしてもらい、とてもわかりやすく良かった/説明をさせていただいて新しい発見がありとても楽しかったです/地元に住んで40年。初めて歩いた道に感激しています/個人では行けない名所や景色が見れた

【第2回】

- ・歩く距離、速度がちょうど良かった

【共通】

- ・自然に触れられてとてもよかった/天候に恵まれとても気持ちよかった/普段見慣れた町がちょっと寄り道するとまるで見知らぬ所に見えたところがとても良かった/山崎パンのサービスもありがたかった

●工夫してほしい点など

【第1回】

- ・途中の桜並木が開花が遅れていたのが残念でした/昼食がとれる場所を入れてくれると良かった/少し休憩時間がほしかったと思います/班の編成はできれば10~15人くらいにして、説明をもっと詳しくしてほしい/鶴見川サイクリングロードは長すぎた

【第2回】

- ・社寺めぐりは入れてほしかった/出発時間をきちんとしてほしい/桜をもう少し多く見たかった

4) 他のコースの散策会への参加意向

- ・ほとんどの人(130名)が参加意向を持ち、希望コースは第1回(Aコース)まち歩きイベントでBコース40名、Cコース31名、Dコース31名と、第2回(Bコース)まち歩きイベントでAコース17名、Cコース20名、Dコース17名と、いずれのコースも満遍なく人気があることがわかった。

5) 散策マップの内容について

- ・持ち運びやすさや見やすさといった使い勝手については、大多数の119名(約87%)の方から良いという評価をいただいた。
- ・地図上で自分の位置を確認できたかという問に対して100名(約73%)の方はできたと回答しているが、3割近い人が確認できてないことから、工夫の余地もある。
- ・よくできているという意見の一方で、町界の明示、ポケットへの入れやすさなどの提案があった。

⑦散策コースへの案内サイン設置の検討

1) 案内サインの検討

散策マップに掲載されている散策コースの散策環境の向上を目的とし、別途専門業者の調査結果報告をもとに、部会内で意見交換しながら、案内サインの設置検討がおこなわれた。

a) サイン配置の基本的な考え方

配置の基本的な考え方については次の方針がまとめられた。

- ①ルートを間違えやすい分岐点や交差点・広場に設置する。
- ②一本道であっても周囲に目印となるものがないところに設置する。
- ③迷う恐れはないが、移動距離が長いルートに案内サインを優先設置する。

なお、デザインについては、安心（明瞭な指示、ルート距離の表記、散策マップとの連動等）、簡単（文字サイズや色を使った高い視認性）、親しみ（絵文字、矢印等の意匠を工夫）を基本とすることが方針化された。

b) 案内サイン設置箇所

現地視察やその後の意見交換により、A コース5箇所、B コース5箇所、C コース5箇所、D コース3箇所の4コース全体で 18 箇所の案内サイン設置が提案された。

c) 道の矢印表記デザイン

ルートと進行方向の表示を基本に、4コースの認識機能、周辺施設案内機能を表記したデザインとする考え方から、真上や斜めからの俯瞰、矢印の表記方法などに応じて、4つの選択案が提示された。

自立埋設型（1ポール、2ポール）と取付型（標識、ガードレール、私有壁、電柱）が提案され、設置場所の条件からふさわしい形態が提示された。選択案としてはデザインの自由度が高い自立埋設型が多いが、私有壁を活用する形態も比較的多いスタディ結果となっている。

自立埋設型



ポール取付け型



壁面取付け型



電柱巻付け



案内サインのデザイン例

2) 第2部会内での意見交換

調査結果を基にした意見交換では、主に次のような意見が出された。

- ・わかりやすさという視点からすると、複数方向からの見やすさや散策マップと同じ記号の採用など工夫が必要ではないか。
- ・自立型でも1本足型と2本足型をどのように決めるのかとの質問に対して、コスト面では差がないので、2本足を基本に1本足を補足的に設置するという考えがよいとのアドバイスがされた。
- ・案内サインの色や素材の耐用年数はどのくらいなのかとの質問に対して、以前のシルクスクリーン印刷と違い特殊フィルム印刷は安くて更新しやすいが耐用年数は3～4年と短く、維持管理する組織が欠かせないとのアドバイスがあった。
- ・C、Dコースは距離が長いコースなので、それぞれ5箇所、3箇所は少なすぎるのではないか。次年度は部会でもう少し精査して、設置箇所を決定する必要がある。（Cコースは最終的に8箇所に増加）
- ・案内サインの著作権を誰がもつかによって維持管理のコストはかわってくるので事前によく協議しておくとともに、案内サインの台帳を作成しておきそれをもとに管理する仕組みを作っておく必要がある。

3) 散策コースへの案内サイン設置

現地に案内板見本を掲げ、見え方や表示内容、デザイン等の比較検討を行った上で、全 21 箇所に案内サインを設置した。

表-3. 水と緑の散策コース 案内サイン設置箇所・方法

| サインNo. | 設置箇所 | 設置方法 | | | | 備考 |
|--------|--------------------------|------|--------|--------|-----|------------------------|
| | | 自立型 | 取付型 | | | |
| | | | カーブミラー | ガードレール | 私有壁 | |
| A-① | ABD コース分岐点 仲町台 4-21 | ◎ | | | | 道路占用 ※A・B・D コース重複箇所 |
| A-② | 長福寺高台地点 仲町台 4-10 | | | ◎ | | 道路占用 |
| A-③ | 早苗地藏付近 折本町 1388 | | ◎ | | | 道路占用 |
| A-④ | 淡島橋～淡島神社 折本町 1453 | | | | ◎ | 民地 |
| A-⑤ | 新大熊橋付近 大熊町 105 | ◎ | | | | 河川占用 |
| B-① | 折本町 2284 付近 折本町 2284 | | | ◎ | | 道路占用 |
| B-② | 八幡森付近 東方町 753 | | | | ◎ | 民地 ※B・D コース重複箇所 |
| B-③ | 八幡森～緑道へ至る 東方町 750 | ◎ | | | | 民地 ※B・D コース重複箇所 |
| B-④ | 都田幼稚園下 池辺町 2876 | ◎ | | | | 道路占用 ※B・D コース重複箇所 |
| B-⑤ | 念仏寺付近(原庭バス停) 池辺町 2181 | | | | ◎ | 民地 |
| C-① | 川和町 1666 付近 川和町 1666 | | | | ◎ | 民地 |
| C-② | 川和小学校前 川和町 1500 | | | | ◎ | 民地 |
| C-③ | 川和町 1204 付近 川和町 1204 | | | ◎ | | 道路占用 |
| C-④ | C・D コース分岐点 川和町 1204 | | | | ◎ | 民地 ※C・D コース重複箇所 |
| C-⑤ | 川和団地内 川和町 987-2 | ◎ | | | | 民地 |
| C-⑥ | 川和団地下バス停付近 川和町 927 | ◎ | | | | 民地 |
| C-⑦ | 貝の坂旧街道入口 川和町 870 | ◎ | | | | 民地 |
| C-⑧ | 川和町 9 付近 川和町 9 | | | ◎ | | 道路占用 |
| D-① | 折本町 1809 付近 折本町 1809 | ◎ | | | | 道路占用 |
| D-② | 坊方道～都田中に至る 池辺町 2102 | | | | ◎ | 民地 ※B・D コース重複箇所 |
| D-③ | 都田西小学校前 池辺町 2453 | ◎ | | | | 学校施設 |

図 - 10 . 水と緑の散策マップ 案内サインの設置場所

